



池戸一成 後援会 会報

しぶがき通信

巻号

発行日：平成 24 年 4 月

発行者：池戸一成後援会事務局

各務原市蘇原柿沢町 1-15

TEL：371-2749

FAX：382-1350

市議会議員となって 4 年目になります。たいへん多くの方に、お会いさせていただいております。様々な相談をいただけるようにもなってきました。ライフワークとして『原発がなくても成り立つ社会づくり』の活動もはじめました。議員になりたての頃よりも仕事が増えて、『やりがい』と『責任感』を感じながら、日々の生活に追われるようになり、幸せに思っています。

ただ、要領が悪く、不器用で、ウソがつけません・・・これだけは、なにとぞご勘弁をお願いいたします。

池戸 一成

本年度の事業の中で、私が一番注目していること

本年度予算のいくつかの柱の中で、私が注目しているのは『各務原ブランド』の推進として、『かかみがはら版GNH*』の研究に着手するとのことです。予算は 200 万円です。

戦後日本は、様々な歴史的背景の中で、近代合理主義思想やグローバル資本主義といった西洋思想に基づいた経済活動に影響をされてきました。確かにそのことは日本を高度成長させ、多大な恩恵を与えたと思います。しかし、それと同時に多くのものも失ったと思います。

企業間における信頼関係に基づいた取引や、完全雇用文化など、日本らしい、情に厚い関わり合いが薄れて、また、環境の汚染や破壊についても、経済成長を言訳にして目をつむってきたのではないのでしょうか。最近では、行き過ぎたグローバル資本による世界的金融危機の影響も受け、その結果、日本を支えてきた『厚い中流階層』が消失しはじめ、ますます二極化が進んでいます。

このような経済的状況下で、昨年東日本大震災が発生し、「幸せとは何か？」という問題に、国民が面と向き合い、考え直し始めたように思います。

本年度に予定されている『かかみがはら版GNH』の研究は、幸せに対する価値観を見直し、もともと日本にそぐわなかった「自分が良ければいい」とか「とにかく競争に勝てばいい。相手がどうなってもかまわ

ない」などというような西洋思想に基づく価値観から、心豊かに暮らせるまちづくりに、大きく舵を切るきっかけになりうると、期待をしています。

この事業では、GNH指数、すなわち各務原市の政治が市民を幸せにできているかどうかの『物差し』をつくるのですが、指数をつくることだけを目的とするのではなく、つくるプロセスにおいて、「誰がこの指数をつくったか」を重要視すべきだと考えています。

もし仮に、このGNH指数を、市民が知らない間に市役所が決めて、そして市役所が勝手に評価・判断をしていると市民の大半が思えば、理想のまちづくりに向けたこのGNH指数の価値も限りなく薄れてしまうと思うのです。この指数づくりに、市民が参加し、市民が政治の方向性を作っていくことに結びつくことが、この事業の目的であるべきと考えます。

しかしながら、市民が政治に参画していくことは、市民も責任を負うことになります。市の収入のことも考え、「何が必要で、何をガマンするか！」を考えなくてははいけません。「こっちは税金払っているんだ！あれもやれ！これもやれ！」というわけにはいかなくなります。

今こそ「文明の転換期」です。市政と市民が、本来の日本民族の価値感を取り戻すことに、このGNH指数づくりが一役買うことを期待しています。

※GNH～最近話題のブータン王国が提唱する国民総幸福量（Gross National Happiness の略。）

市の会計を知りましょう！

市の会計には『一般会計』のほかに、『特別会計』があります。

一般会計は、皆さんが納める市税を主な収入財源として、市の行政運営を経理する会計です。

これに対し、特別会計は、特定の事業を行う場合または特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため、条例に基づいて設置します。

通常、新聞や広報などに発表されるのは一般会計だけで、特別会計まではあまり公表されません。しかし、予算規模は特別会計を合わせると、一般会計の7割以上ある規模ですから、注目しなくてはなりませんね。

【特別会計の種類】

各務原市の特別会計には、『国民健康保険事業』、『介護保険事業』、『後期高齢者医療事業』、『下水道事業』の4つにそれぞれ特別会計があります。

この他に『水道事業会計』がありますが、特別会計でなく、企業会計と呼ばれ、一般企業に近い運営が

特別会計は、独立採算になっていない・・・

例えば、国民健康保険事業特別会計（以下、国保会計）は、国保に加入している人が納めた国保料を使って、加入者に対してサービスを行います。つまり「特定の収入で特定の事業を行う」ことになるので、一般会計から切り離し、国保会計という独立採算制の特別会計を設けているのです。

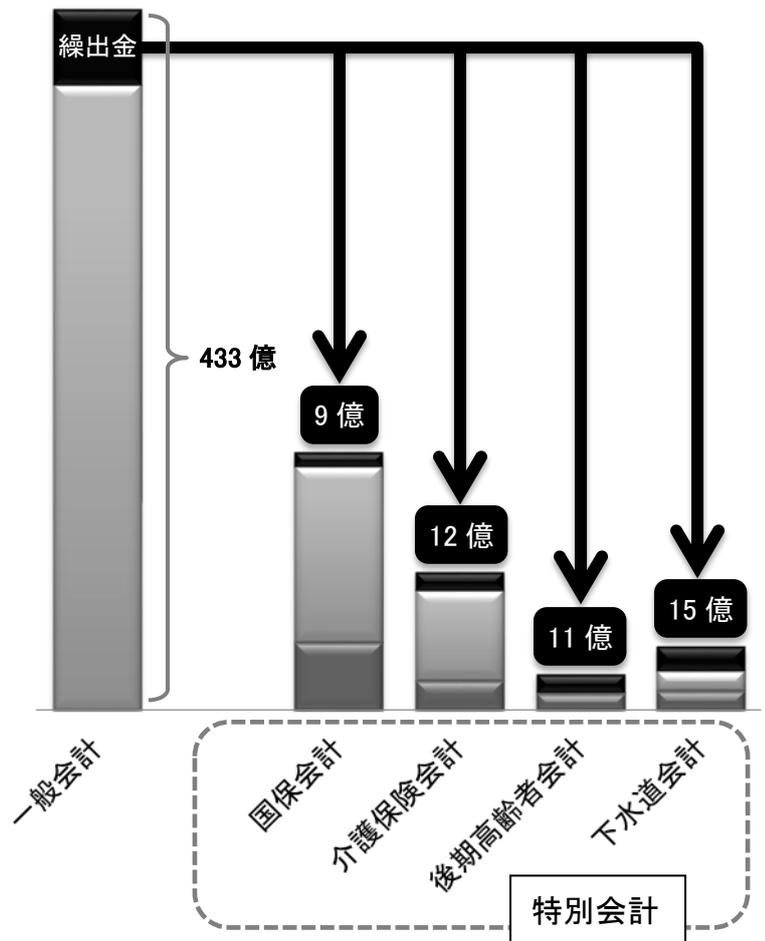
といっても、完全に独立採算で経理が行われているわけではありません。

各務原市の場合、国保会計のうち、保険料でまかなえているのは全体の26%しかありません。残りを

一般会計から財源をまわすということは・・・

例えば、一般会計から国保会計に繰り入れを行うということは、国保に加入していない方の税金の一部も国保会計に使われることとなります。これは、共助の考え方で、例えば、所得が低い方の負担を、他の方々で少しずつ負担しましょうという、税の基本理念に基づくものです。

■ 保健料・使用料など ■ 国・県・他より ■ 繰入金



されており、概ね独立採算の形をとっています。

国や県の一般会計からや、社保や共済組合から財源をもらいます。

さらに、できるだけ保険料の負担を上げないように、市も一般会計から財源を国保会計にまわします。これを『繰入金』といいます。（一般会計からみると『繰出金』）

市は、国保会計以外の特別会計にも、利用者の負担を軽減するために、一般会計から財源を繰り入れています。

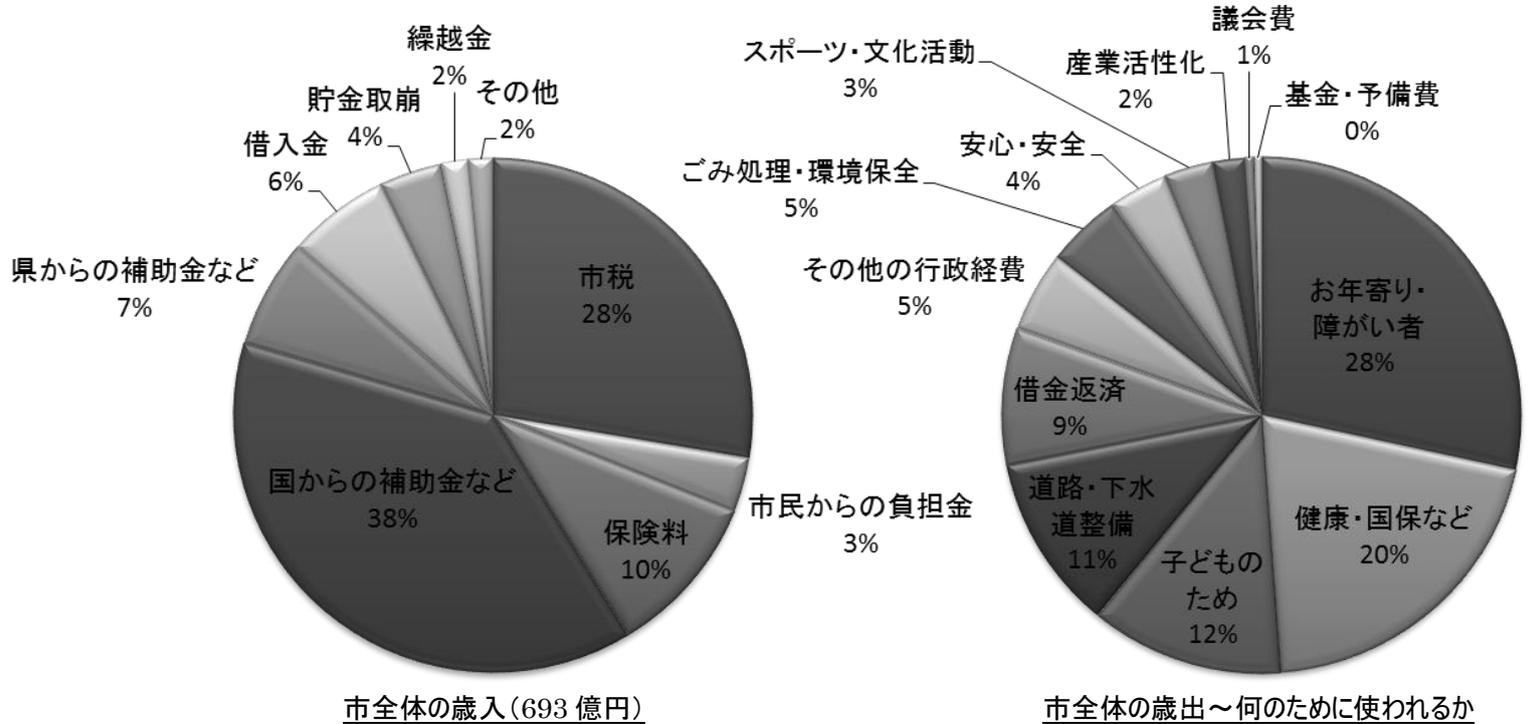
一般会計からの繰入金の額は上の図の通りです。

以上のように、国保会計や介護保険会計などは、市町村ごとに特別会計として行われますので、市町村によって保険料や負担料は違うのです。財政がひっ迫している市町村は、財源の補てんができなくて、保険料なども高くなってしまい、地域格差が問題となっているのです。

市の会計の全体像を見てみましょう

左図のように、H24年度の市の一般会計予算規模は433億円です。特別会計の予算規模は、国保会計が160億円、介護保険会計が85億円、後期高齢者会計が22億円、下水道会計が39億円で、特別会計の合計は306億円で、水道会計を除いた市の会計全体は693億円と

なります。(繰入金が多いため、単純合計ではない。) 一般会計をみるだけでは、「どのように市が運営されているか？」を判断できません。一度、すべての会計を合算して見てみましょう。ちなみにこの集計は結構たいへんでした・・・(汗)



市に入ってくる全ての財源を見てみましょう・・・(左の円グラフ)

歳入全体のうち、市民から直接入る市税や国保などの各種保険料、施設などの使用料が全体の4割くらいです。借入金の一部は臨時財政対策債なので、実質の

国・県からの財源は5割くらいです。残り1割が純粋な借入や貯金取崩、前年度からの繰越金などとなります。

市のすべての財源693億円の使い道は・・・(右の円グラフ)

【お年寄りたちのための予算】

お年寄りや障がい者など社会的弱者に多く使われます。生活保護の10億円もここに入っています。他に、2番目に多い国保の医療費や予防接種など、健康のためのサービスの中にも、高齢者などの分が含まれますので全体の3割以上、200億円以上が社会的弱者の方のために使われることになります。

【子どものための予算】

学校の耐震化や維持管理、保育所・幼稚園の経費や学童保育、給食などのために83億円使われます。

【基盤整備のための予算】

来年3月に完成を控えた各務原大橋完成に向けて、橋建設に27億円、道路の新設・維持に20億円をはじめ

め、下水道の新設・管理に15億円など、都市の基盤整備全体で76億円が使われます。

【その他の予算】

ごみ処理や汚水処理など環境保全に33億円使われます。

消防をはじめとする私たちの安心安全のために25億円使われます。本年度は、この中に高機能消防指令システムなど5億円が含まれます。

スポーツ・文化活動のための予算のほとんどは、市民会館やスポーツ施設の維持・管理で21億円使われます。本年度は、この中に文化会館リニューアル4.7億円、総合体育館や勤労青少年グラウンドの整備2.5億円が含まれます。

「音楽のまち」「本のまち」のつぎは「スポーツの街」



当市において、ぎふ清流国体やロンドンオリンピックホッケー最終予選が開催されることに端を発し、本年度から『スポーツの街』が推進されます。

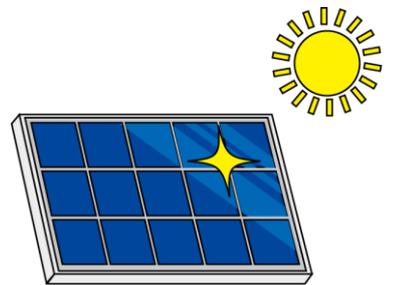
正直、『音楽のまち』は成功してきていると思います。ここ最近の市内中学校吹奏楽部の成績も素晴らしいです。成功のポイントの一つに、楽器などしっかり揃えて環境を整えたいうで、吹奏楽アカデミーなどのソフト事業を行っていることにあると思います。

『スポーツの街』推進も、環境整備が不可欠と考えます。ぜいたくな施設は必要ありません。数が必要だと思えます。本年度は、各務原大橋の完成年度ということもあり、スポーツの街推進の主だった事業としては、勤労青少年グラウンドに水道が引くなどまでに止まり、大きな予算はつきませんでした。次年度以降に向けて働きかけていきたいです。

循環型社会への一歩

住宅用太陽光発電システムの新設に補助金が出ることになりました。システム1kwにつき35,000円で、10万円が上限です。国の補助と併用することが条件です。

最近、若い世代の収入が減ってきて、貯蓄が少ない世帯が増えています。貯えのあるお祖父ちゃんやお祖母ちゃんは、ぜひお子さんたちへの家につけてやっていただきたいです。環境にも経済効果にもつながりますので・・・



屋外広告物の手数料が値下げ

屋外広告物の許可申請の手数料が値下げになります。内容は、これまで更新期間が2年から3年に延長され、手数料も5㎡当たり3年で2,240円から1,400円になります。また、既存の自家広告物30㎡以下のものは無料になります。この手数料は県の景観条例に基づいて、市が業務を代行して行っており、以前より不評でした。私も多くの苦情を聞きました。

本年度も開催されます～防災人づくり講座

災害発生時、最も重要な初動体制は、住民による自主防災活動ではないでしょうか。その要となる『リーダー』の育成のため開催されるのが『防災人づくり講座』です。

この講座では、防災の基礎知識、図上による実施訓練、消火器・炊き出し・家具転倒防止作業などの実施訓練など、5～6日間かけて開催される充実した内容の予定です。

各務原には自衛隊勤務の方々も多くいらっしゃるのですが、いざというとき心強いですが、正しい知識を持った方がリーダーとなった組織を、自治会ごとに考えておくことは、これから取り組んでいかなければいけないことでしょう。



インターネットで市政情報を更新中！

- 市政や地域の情報などの報告。
- Facebook や twitter でも配信中です。

池戸一成

検索

